

## 新刊書紹介

## ちょっと知りたい 雑草学

沖 陽子・岩瀬 徹・  
露崎 浩・村岡哲郎・  
高橋宏和・田中十城／  
著  
発行：日本雑草学会



本誌の読者諸氏は、雑草の意味や位置付け、さらにはご自身の雑草に対するスタンスについて、明確な認識と見解をお持ちであるに違いないが、これから雑草と付き合おうという人たちにとっては、雑草はそのあまりの多様さゆえに実体がつかみにくいのではないだろうか。

本書「ちょっと知りたい雑草学」は日本雑草学会の創立50周年を機に、雑草の専門家でない方々、次世代を担う若い読者、さらにもっと広く一般の方々を対象に「雑草とは何か？」というきわめてシンプルだが、簡単には答えられないテーマについてわかりやすく解説したものである。また、情報の不足もあってか、とかく誤解されがちな除草剤についても、そのしくみや使い方についてわかりやすく説明されており、除草剤の正しい知識を普及する格好の書である。

執筆陣は、雑草学会の中でそれぞれの見識とアプローチを異なった角度からお持ちになっており、それを反映して、本書の内容も非常に多彩なものとなっている。

以下に、各章の見出しを並べることで、内容の紹介に代えたい。

## 第1章 雑草のくらし

- ・「雑草」のイメージは？
- ・雑草の「雑」の字は？－本来は「雑」

- ・雑草と野草
- ・「立ち上がる雑草」－緑の修復者
- ・生えては困る？でもそれはありがたいこと
- ・校庭の雑草を観察する
- ・高原のヘラバヒメジョオン－野草になったり雑草に戻ったり
- ・籠城する？ニホンのタンポポ
- ・帰化植物のくらし
- ・帰化植物と外来植物は
- ・同じ草でも生える場所によって人との関係が変わる

## 第2章 雑草から学ぶ自然のしくみ

- ・雑草から生まれた作物
- ・雑草の一生（生活史）を見る－一年草から二年草
- ・雑草の生活史を見る－多年草と生活型
- ・土壌の中の種子群－水田雑草スズメノテッポウ
- ・発芽と芽生え－オオアレチノギクとヒメムカシヨモギの比較から
- ・成長の速い雑草－イネ栽培とタイヌビエ
- ・生き残るしくみ－畑のメヒシバ・畦畔のメヒシバ
- ・雑草群落から遷移を実感する

## 第3章 雑草をコントロールする

- ・求められる雑草の状態と雑草コントロールの関係
- ・いろいろな雑草管理の方法
- ・除草剤の役割
- ・世の中に除草剤は必要なのか？
- ・除草剤は人に対して危険な物質なのか？
- ・除草剤が草を枯らすしくみ
- ・雑草は枯れるのに作物が枯れないのはなぜ？
- ・除草剤の使い方

## 終章 座談・雑草との共存を目指して

●定価1,995円（税込）、発売：全国農村教育協会